

●社会福祉法人α Version 7.704

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 名称等転送

- 「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました。
「科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

◆ 科目設定・残高登録

- 摘要辞書登録
 - ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。
 - ※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

◆ 部門設定

- オプション／各種設定
 - ・オプションに [各種設定] を追加し、科目別配賦の任意設定比率登録の配賦先部門を「部門名称」で表示できるようにしました。
- 部門登録
 - ・登録済みの部門を削除するときに、通常配賦や科目別配賦を行っている場合、配賦先部門の削除ができなかったのをできるように改良しました。

◆ 通信・移動

- マスター&データ抽出
 - ・未設定科目エラーが発生した時に、どの科目が原因なのかをリスト表示するようにしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“社会福祉法人db (VERSION:7.704) の変更点”を参照してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:7.704) の変更点

改良・修正

I. 導入・更新

1) 残高合併

- ・合併マスターに対し、合併対象マスター側で拡張科目あり、拡張科目なしのマスターを混在して合併を行うと、動作停止する場合がありますのを修正しました。

2) 名称等転送

- ・「仕訳対応摘要」のチェックボックスを追加しました。
「科目関係（名称・科目設定・分析登録内の設定）」及び「摘要辞書」のいずれにもチェックがある場合に、「仕訳対応摘要」のチェックボックスが有効になります。
「科目対応摘要」と同様、上書き転送となります。

転送元選択		転送先選択	
[00000007] 法人		[00000006] 法人	
みほんアイシーエム株式会社		てすと	
事業期間	: 30年 1月 1日 ~ 30年 12月 31日	事業期間	: 29年 10月 1日 ~ 30年 9月 30日
科目名称数	352	科目名称数	352
合計名称数	406	合計名称数	406
摘要登録数	299	摘要登録数	298
科目対応摘要登録数	223	科目対応摘要登録数	223
仕訳対応摘要登録数	0	仕訳対応摘要登録数	0

転送項目設定

科目コードのみ

科目関係 (名称・科目設定・分析登録内の設定)

摘要辞書

- 同一コードは上書きする
- 同一コードは上書きしない
- 同一コードで名称が異なる場合は転送元名称を別コードで追加する

科目対応摘要

仕訳対応摘要

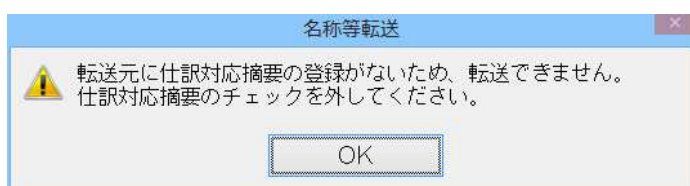
合計・明細の選択

● 全部 ○ 出力詳細のみ

- 試算表・分析表
- 決算書
- 比較・推移・対比表

転送

転送元の仕訳対応摘要登録数が 0 件の場合、メッセージを出して処理を中止します。



- ・「対応摘要ページ」を『科目対応摘要登録数』という表現に変更しました。
- ・転送元の科目対応摘要登録数が 0 件の場合、仕訳対応摘要と同様に処理を中止するようにしました。
- ・「摘要辞書」で「同一コードで名称が異なる場合は転送元名称を別コードで追加する」を選択し、かつ「科目対応摘要」にチェックを付けている状態で転送処理を行った場合、科目対応摘要へは、転送先に別コードで登録している摘要名称に、転送元で元々持っていた摘要コードをセットしていたため、転送先に登録している摘要コードで追加されるように修正しました。

例) 転送元

294 番の「三菱東京 UFJ」を「三菱 UFJ」に変更して、科目対応摘要のページ 1 に「294」を登録

転送先

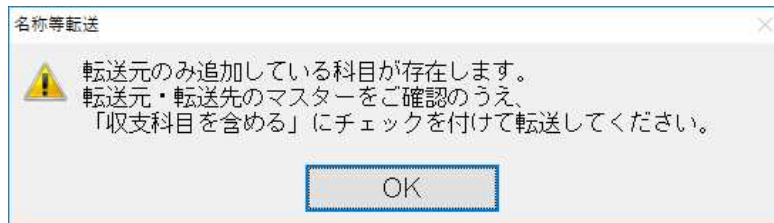
改良前 摘要辞書の 299 番に「三菱 UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ 1 は「294」のままになっていました。

改良後 摘要辞書の 299 番に「三菱 UFJ」を追加し、科目対応摘要のページ 1 も「299」になります。

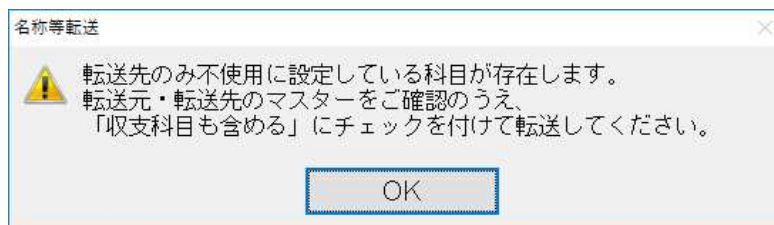
- ・非営利法人において、転送元、転送先マスター間の科目の拡張状態や使用不使用のサインが異なる場合、「科目関係（名称・科目設定）」及び「収支科目も含める」の両方にチェックが付いていないと転送できないように変更しました。

「収支科目も含める」のチェックを付けずに転送しようとした場合、メッセージを出し転送を中止します。

転送元で拡張された科目が転送先がない場合



同一科目で転送元が使用、転送先が不使用になっている場合



- ・「科目関係（名称・科目設定）」のチェックを付けたとき、「収支科目も含める」のチェックは常に ON になります。
- ・ある科目が転送先でのみ拡張されている場合や転送元でのみ不使用になっている場合は、従来どおりのメッセージを表示し転送を中止します。
- ・転送元、転送先マスター間で、科目の拡張や使用サインの相違がない場合は、従来どおり、「収支科目も含める」のチェックが OFF でも転送可能です。

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

- ・下記条件に該当する場合、F11 発生残高の小計に、期中に仕訳発生のない枝番の残高が含まれていなかったのを修正しました。

(条件)

1. 枝番の期中の仕訳発生がない（期首・期末には残高がある）
2. F6 条件設定で「残高・発生の無い枝番を出力する」はチェックなし
3. 過年度マスターが付いている。

- ・推移損益で枝番出力した際に、2 ページ目に枝番表示がされない場合があったのを修正しました。
- ・社会福祉法人 d b で法人税等の科目を使用している場合、残高問い合わせで法人税等が合計用の科目として表示され、明細の科目が表示されなかったのを修正しました。

2) 科目設定・残高登録

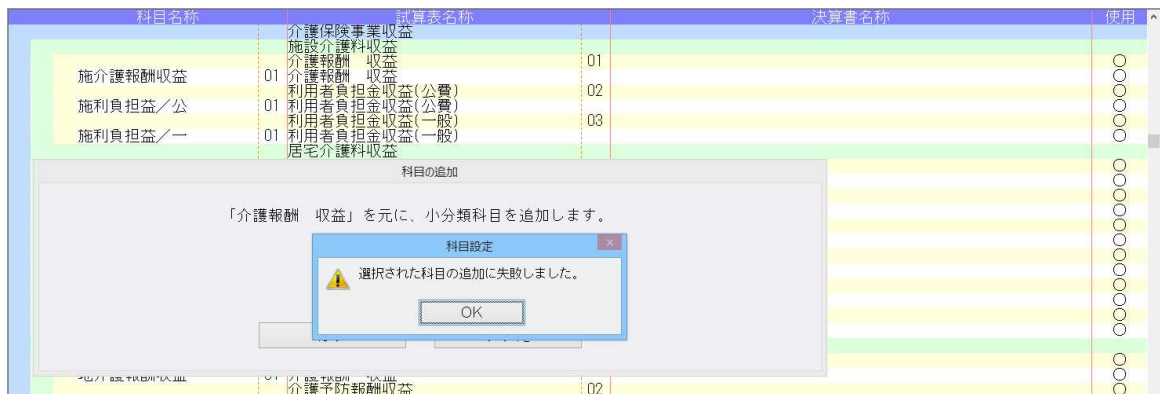
① 摘要辞書登録

- ・「三菱UFJ銀行」の行名変更に伴い、摘要辞書の金融機関関係の初期名称を変更しました。新規作成時に適用されます。既存マスターは変更されません。

※併せて他の金融機関名も見直しを行いました。

番号	変更後	カナ	変更前
281	損保ジャパン日本興亜	ソホ	損保ジャパン
286	SMB C日興証券	ISM	日興コーディアル証券
288	三菱UFJモルガンスタンレー証券	ミツ	三菱UFJ証券
294	三菱UFJ銀行	ミツ	三菱東京UFJ銀行
297	イオン銀行	イオン	シティバンク (解散により削除)

- ・介護報酬収益について科目拡張を行おうとすると、下記のエラーとなり拡張できなかったのを修正しました。



3) 部門設定

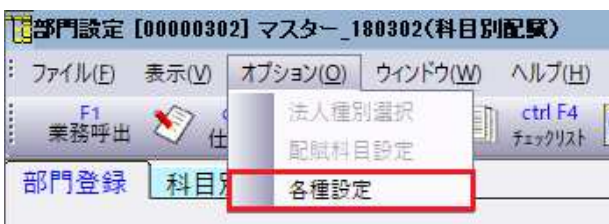
① オプション/各種設定

- ・オプションに「各種設定」を追加し、科目別配賦の任意設定比率登録の配賦先部門を「部門名称」で表示できるようにしました。

<下記ダイアログ内の項目名を部門番号 or 部門名称で表示します。>

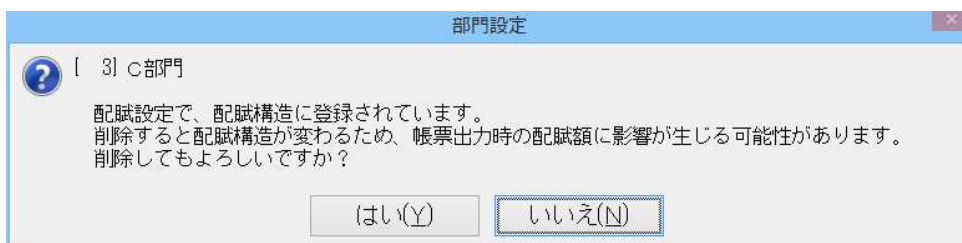
配賦比率設定

詳細割合



② 部門登録

- ・登録済みの部門を削除するときに、通常配賦や科目別配賦を行っている場合、配賦先部門の削除ができなかったのをできるように改良しました。



Ⅲ. 出力

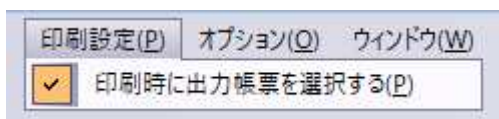
1) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ・個別対応方式の一括税抜マスターで、消費税額試算表の[F6 詳細設定]で「課税取引期間計より消費税額を算出する(総額)」と「枝番表示を行う」の両方にチェックが入っている場合、損益計算書、課税取引、消費税額等の金額がおよそ倍額で表示されていたのを修正しました。

Ⅳ. 決算

1) 附属明細書

- ・附属明細書の各帳票をまとめて出力する機能を追加しました。
▼オプションの印刷設定「印刷時に出力帳票を選択する」にチェックを付けます。

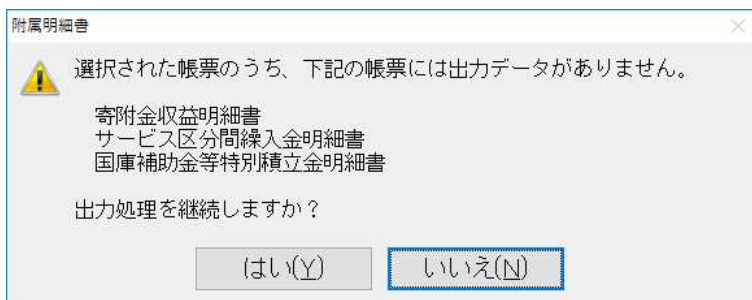


- ▼F3 Excel 出力/F4 プレビュー/F5 印刷を押すと、一括印刷ダイアログを表示します。

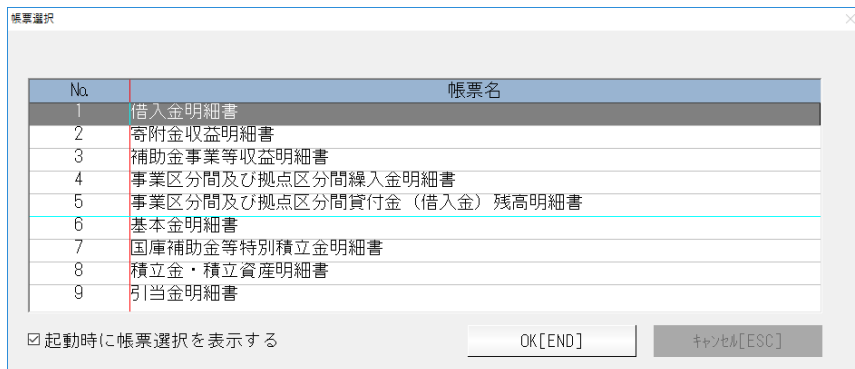


- * 帳票名の左にある選択欄にチェックを付けて出力を行います。
- * F4 プレビューから一括印刷ダイアログを表示したとき、現在表示中の帳票のみチェックが自動で付きます。
- * F3 Excel 出力/F5 印刷からダイアログ表示したとき、データのある帳票のみチェックが自動で付きます。
チェック等の設定を変更すると、附属明細書業務の起動中は保持しますが、終了すると初期に戻ります。
- * 部門出力チェックは、出力パターン登録を行っている帳票に対して選択チェックを付けると、チェックボックスが有効となります。チェック ON で部門別に、チェック OFF で全体を出力します。また、サービス区分間帳票はチェック ON で固定、部門別に出力しない帳票はチェック OFF で固定です。
- * 出力パターン選択は、部門出力チェックを ON にしたときにドロップダウンリストが有効となります。
また、リスト内には部門を指定している出力パターンのみ表示します。
- * 帳票全選択/全解除ボタンを押すと、データのあるすべての帳票を一括して選択または解除を行います。

- * 出力対象のうちデータのない帳票を含んでいる場合には、出力直前に注意メッセージを表示します。



- ・業務起動時、帳票選択ダイアログを表示するようにしました。



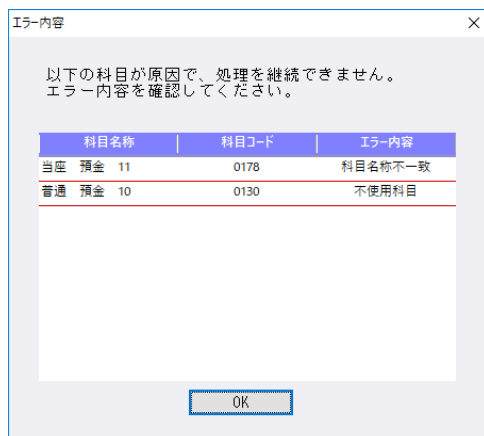
- * 「起動時に帳票選択を表示する」のチェック ON/OFF はマスターごとに保持されます。また、ダイアログ表示時、最後に処理を行った帳票の行が反転されます。
- * 「起動時に帳票選択を表示する」のチェックを OFF にすると、次回から起動時にダイアログを表示しません。ダイアログを再表示したい場合、表示中の画面で Home 帳票選択を押下しダイアログでチェック ON にすると、次回から起動時にダイアログを表示します。
- * 右上の会社選択アイコンよりマスターを切り替える際にも、ダイアログを表示します。

- ・補助金事業等収益明細書において、利用者からの収益欄に金額がないデータ行から金額があるデータ行へ集約すると、「交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳」で、集計対象でない部門に、利用者からの収益金額が表示されていたのを修正しました。

V. 通信・移動

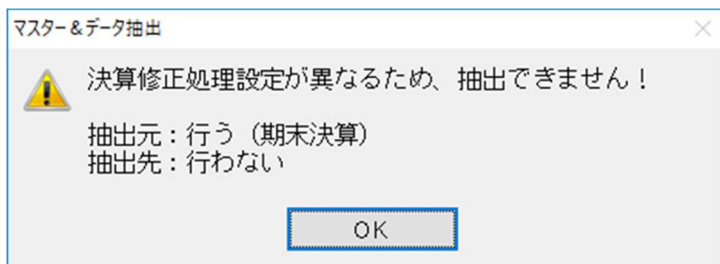
1) マスター&データ抽出

- ・未設定科目エラーが発生した時に、原因科目をリスト表示するようにしました。

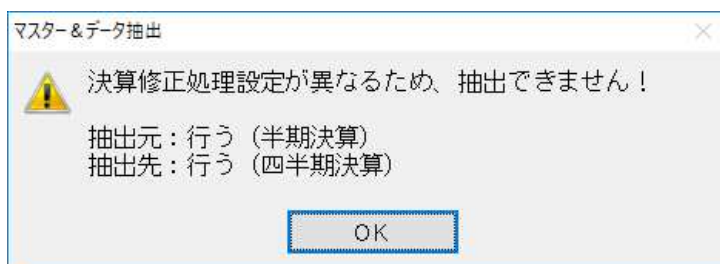


- ・マスター入替時、決算修正処理設定が異なる場合に表示するエラーメッセージの内容を変更しました。送信元、送信先の決算修正処理設定の情報をメッセージ内に表示するようにしています。

(例) 抽出元／決算修正処理：行う（期末決算） 抽出先／決算修正処理：行わない場合。



(例) 抽出元／決算修正処理：行う（半期決算） 抽出先／決算修正処理：行う（四半期決算）の場合。



- ・受信一覧に給与データが表示されていたのを修正しました。

以上